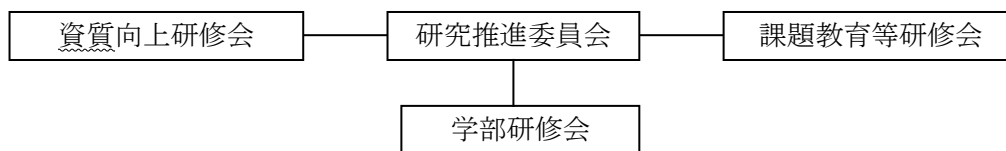


令和3年度 研究推進

1 研究テーマ 「一人一人が力を伸ばし、活躍できる授業づくり
～実態把握を起点とした指導の充実～」

2 研究計画

(1) 研究の組織



(2) 研究の方法

研究推進委員会

特別支援学校の教員として専門性の向上を図り、研究を推進する。

- ア 研究テーマは、今まで培った「キャリア教育」を礎とし、研究の方向性を提案する。
- イ J K P（授業力向上プロジェクト）を推進する。
- ウ 研修計画を立て、研修の窓口として会の調整・推進・精査を行う。
- エ 研究目標を月ごとに提示し、職員間で同じ目標を共有していく。

資質向上研修会

子ども一人一人の教育的ニーズに応じた教育実践を進めるため、教員の専門性を向上させる研修を行う。(研修講座のしおり参照)

- ア 子どもの的確な実態把握をもとにした授業づくり、教材・教具等、専門性の向上をめざした研修を行う。
- イ キャリア教育推進委員会と連携し、キャリア教育の研修を行う。
- ウ 篠養フォーラムについては、「キャリア教育」を基に「自立活動」をテーマに開催する。学校改革を中心に計画を推進する。

課題教育等研修会

課題教育等についての研修を行う。

人権教育、情報教育、安全防災教育等についての研修を行う。

学部研修会

幼・小学部、中学部、高等部、教育支援部、保健部が、それぞれの研究を主体的に進める。

- ア 実態把握を起点とした授業づくりを行い、下記3つに焦点化した研究を行う。
 - ① 学習指導 ② 仲間づくり ③ 生活・生徒指導
- イ それぞれの課題についての研修を行う。
- ウ 幼児生の「共通理解事項」を作成し、職員間で共通理解する。

(3) 各学部の研究目標

幼・小学部：「実態把握を起点とした指導の充実

～授業づくりを通して～

中学部：「個々の力と社会性を伸ばす授業づくり」

高等部：「豊かな生き方につながる自己選択力・自己決定力の育成」

教育支援部：「専門性を高める研究と実践 ～協働と連携をもとに～」

保健部：「一人ひとりの疾病・障害に基づいた健康教育・健康管理の充実」